

鹿島台の自慢! 互市

明治43年(1910年)、わらじ村長こと鎌田三之助が村民の福利を図ろうと始めた「鹿島台互市」。100年以上続き、春と秋の年2回開催されている市は、今では植木や農産物など250を越える露店が並ぶ東北最大の互市として広く知られている。



▲鹿島台互市

【鹿島台互市】(春)

- 開催日/平成28年4月10日(日)~12日(火)
- 時間/9:00~16:00
- 会場/鹿島台昭和通り(JR鹿島台駅~大崎市鹿島台総合支所)
- 問合せ先/0229-56-5520(鹿島台互市運営委員会)

【鹿島台互市】(秋)

- 開催日/平成28年11月10日(木)~12日(土)
- 時間/9:00~16:00
- 会場/鹿島台昭和通り(JR鹿島台駅~大崎市鹿島台総合支所)
- 問合せ先/0229-56-5520(鹿島台互市運営委員会)

デリシャスファーム

(でりしやすふあーむ)

鹿島台特産デリシャストマトを堪能

ミニトマト収穫や手作り体験等、要予約で様々な体験ができるスポット。敷地内にはカフェもあり、デリシャストマトジュースやソースを贅沢に使ったコクのある「トマトスープパスタ」がおすすめ。カフェ内にはスイーツ等のお土産も充実!

- 住所/大崎市鹿島台木間塚字古館1
- 電話/0229-56-3578
- 営業時間/直売所 9:00~17:00(水・日曜は~15:00)、カフェ10:30~15:00(ラストオーダー14:30)
- 休/無休(年末年始は除く)
- HP/http://www.delicious-farm.com/



MAP P26

鹿島台
ココもおすすめ!

鹿島台野球場体育館周辺食事処 大会やイベント時の食事はココで!



MAP P26

香満園 (こうまんえん)

ボリューム満点本格中華を堪能!

「台湾ラーメン」(580円)や「麻婆飯」(580円)など、本格中華の味が楽しめる。単品から定食メニュー、セットメニューまで種類豊富なメニューは、どれもボリューム満点!

- 住所/大崎市鹿島台木間塚小谷地259-1
- 電話/0229-56-3969
- 営業時間/11:00~23:00(ランチメニューは11:00~15:00、土日祝除く)
- 休/不定休



MAP P26

食事処 赤坂 (あかさか)

家庭的な定食屋で新鮮な魚料理を!

和食や魚料理が並ぶ家庭的な定食屋。三陸や石巻産の新鮮な魚を使った料理がおすすめ。「日替わりランチ」(600円)は、その日の仕入れによって内容が変わる人気メニュー。

- 住所/大崎市鹿島台木間塚字小谷地483-1
- 電話/0229-25-8535
- 営業時間/ランチ11:00~14:00、惣菜11:00~16:00(なくなり次第終了)
- 休/日曜、祝日

各地域にはこんな魅力も!

松山、鹿島台、三本木地域には、ほかにも見どころや歴史がいっぱい。ここでは地域ごとにその魅力を紹介。

法華三郎打初式

伝統と匠の技が見られる、年に一度の貴重な一日

名刀「大和伝」を伝承する、松山地域の刀匠法華三郎日本刀鍛錬所。現在は九代目法華三郎信房氏と十代目法華栄喜氏により、伝統の技が受け継がれている。打初式、年に一度だけその技を披露。



MAP P26

- 開催日/毎年1月5日
- 時間/10:00~
- 会場/刀匠法華三郎日本刀鍛錬所
- 問合せ先/0229-55-2106

秋にはコスモス祭りも開催!

松山御本丸公園(コスモス園)

中世松山の中心的な城である千石城跡、松山御本丸公園。大崎平野が一望できる高台にあり、コスモスが楽しめる公園として多くの人に親しまれている。秋に開催されるコスモス祭りでは複製された人車に乗る事もできる。



- 住所/大崎市松山千石字本丸6
- 問合せ先/0229-55-2112(大崎市松山総合支所地域振興課)

松山は、フランク永井のふるさとです。



「有楽町で逢いましょう」や日本レコード大賞に輝いた「君恋し」などで知られる歌手・フランク永井は、実は松山出身。地元に戻ってくると必ず実家に寄り、近所の家にも顔を出す、ふるさと愛にあふれた人物であった。永井の大成功に、当時の町の人々は盛り上がり、今もその輝かしい栄光の数々は「ふるさと歴史館」に大切に保存・展示されている。

- 平成28年は10月に開催 **フランク永井歌コンテスト毎年開催**
- 問合せ先/090-1492-0438(フランク永井歌コンテスト事務局)
- ※日曜・祝日を除く14:00~17:00

茂庭家霊屋(もにわけたまや)

ひっそりと静かな時間が流れる

歴代の伊達家の重臣・茂庭家が眠る茂庭家霊屋。茂庭家の威光を後世に伝える本堂や、県の天然記念物である前庭のコウヤマキも見所の一つ。



MAP P26

※1月16日と8月16日にご開帳。

- 住所/大崎市松山千石字大樺91 石雲寺境内
- 電話/0229-55-3447

松山
ココもおすすめ!

「幻の人車」と呼ばれる

松山地域の近代化産業遺産

大正11年(1922年)、松山町駅と町の中心部を結ぶために登場したのが「人車」。人力でレール上の車体を走らせ、町民の足となっていたが、昭和4年(1929年)バスの導入により、約6年間という短い歴史の幕を閉じた。4両あった車両のうち、復元された1両は『松山ふるさと歴史館』に展示されている。また複製された人車は『松山酒ミュージアム』前でも見ることができる。2009年には、松山人車軌道の復元・複製された両車両が近代化産業遺産として認定された。



松山